

むかわ町と北海道鷓川高等学校との連携事業

2022年度からスタートした「地域×高校×大学連携事業」は、むかわ町・北海道鷓川高等学校・本学の三者による包括連携協定に基づく取り組みの一環として実施されており、鷓川高校で行われている課題探究型学習「むかわ学」に学生がファシリテーターとして参画し、高校生との交流や対話を通し、提言発表会へのサポートを行うものです。本事業を通し、学生のファシリテーション能力や地域の現状理解度の向上、並びに課題解決能力や地域発展のためのアイデア提案力などの修得・向上も目指しています。

11月より本事業の第3期がスタートし、来年9月の提言発表会まで約1年、高校生と共にフィールドワークや町の方々との交流などを行い、研究内容を深めていく予定です。

2023/11/7(火) 第1回交流会 in 鷓川高校

2023年度11月からの第3期は、高校生と大学生の顔合わせも兼ねた対面での交流会からスタートしました。本学からは小山ゼミの2年生とプログラム継続参加学生の計10名が参加。今後の合同活動を円滑に取り組むための基本的な信頼関係の構築、今後の見通しや目的の共有を行いました。次回の交流会まではLINEオープンチャットやZoomミーティングなど、オンラインでの活動を中心に進められる予定です。交流会前の11/2(木)・11/6(月)、一部グループでは事前に鷓川高校教員と大学生によるオンラインミーティングも実施され、グループの方向性や大学生に対してお願いしたいことなどを確認しました。

Schedule

*グループ別に着席しスタート

12:35-	(1)本日の流れ (2)交流について ・探究型学習「むかわ学」概要 ・大学生に求める関わり方
12:45-	アイスブレイク (自己紹介) 探究内容の確認
13:15-	進捗確認
13:20-	休憩
13:30-	今後に向けての課題点・見通し 調査したいことの整理・共有 (提言までのストーリーについて)
13:50-	各グループの総括、 活動の振り返りについて発表
14:10-	次回交流予定、連絡事項 集合写真撮影



短時間ではありましたが、アイスブレイクで共通点を探したり、今後のスケジュールを確認するなど有意義な交流となりました。



参加学生からのコメント

経済学専攻2年 久我 啓介さん (G-8)

まず、高校生の若さやフレッシュさに驚き、また、案も次々と出てくるため、アドバイスが本当にしやすいかったです。今後フィールドワークとして、班員の野球部4人が札幌でバルクール体験をする予定なので、そこでもう一度会って何が足りないのか、どこを改善していくべきかなど、より良い方向に進めるように、彼らの目標を実現できるように支えていきたいと思っています。

経済学専攻2年 大久保 吉清さん (G-2)

BGMを通じて地域の問題を知ってもらおうということは、自分に無かった発想でもとても良いと感じました。今後、手伝えることなどがあれば積極的に関わっていきたいです。

経済学専攻2年 敦賀 公平さん (G-3)

高校生との会話がはずみ、作業内容の交流だけでなく、鷓川高校の特徴も知ることができて楽しかったです。オンラインで進んでいく作業のため、時間の確保、頻繁に交流に尽力したいと思います。

英語専攻2年 小原 圭乃さん (G-4)

高校生がSNSと入学者や在校生への支援金の充実という二つの面からしっかり探究活動に取り組んでいて素晴らしいと思いました。



交流会の前には、ぼぼんた市場のパン屋「夢風船」さんで昼食。美味しいパンでお腹を満たした後、四季の館内にある「鈴木章記念ギャラリー」も訪問しました。

